

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

特集

問い合わせ、保育の中のあたりまえのこと

シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

実践研究

保育事例をめぐる対話

春

2011

since 1901

子どものまなざしの向こうに

目に見えて写っているものの向こうに、
見る者的心に映るもうひとつの子どもの世界が
聞こえてこないでしょうか。



「サクラの花びら、つかまえた」

目 次

写真

子どものまなざしの向こうに

1

目次 プロローグ

季刊化にあたり

浜口順子

2

特 集

問い合わせ、保育の中のあたりまえのこと1

「子どもの視点に立つ」とは?

座談会

前原 寛・宮里暁美・浜口順子

3

子どもの視点に立つということ

友定啓子

13

「子どもの視点」に立つ

嶺村法子

17

子どもの目の高さに立つ? 一スコットランドで考えたことー

小玉亮子

20

シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

大阪市立愛珠幼稚園

宮里暁美

24

実践研究

保育事例をめぐる対話

いなくなつたカメのチュウをめぐって

佐藤寛子

30

カメがつなぐ ー 幼稚園と小学校のあいだー

神戸佳子

37

カメのあとについて行く

佐治由美子

41

の関係性にかかる根本的な問題が満ち溢れている感があります。国が、現職者を含む保育者の養成に力を傾注しようとするのは当然の状況だと思います。弊誌もまたその問題意識を共有し、「文字」と「紙」という旧来の媒体で何ができるのか、チャレンジを再発進したいと思います。百年以上の弊誌バックナンバーのWEB公開は随時更新していくます。先人の思考や歴史への関心や感受性をもつことは、子ども理解と保育の省察をより深めるに必要な態度であると信じるからです。『児童の教育』を今後ともよろしくお願ひいたします。

連載1 再読・倉橋惣三

倉橋惣三の「子どもの生活」論に、
保育評価の手がかりを探る — 外遊びの場合 —

児玉衣子

45

連載2 保育隨想

園のくらしを育む 13

— 物との出会いからの育ち —

秋田喜代美

50

連載3 自然の目

ツブキ先生の虫のつぶやき 植物編

— スミレを取り巻く虫たち —

津吹 卓

54

論考

保育家具に携わって

渡辺晃男

55

論考

子どもたちと出会う私

西 隆太朗・伊藤美保子

56

論考

アーカイブズ散策(1) 百年前の入園風景

— 第11巻第4号(1911年4月)より —

浜口順子

57

情報・読者のページ

ひろば

58

エピローグ 奥付

WEBページ・次号予告ほか

59

「幼児の教育」は明治
三四〇年創刊以来ずっと
月刊誌でしたが、この
号より三ヶ月ごと発行
の季刊誌になります。
幼い子どもを育てる
こと、人間が育つこと
の原点を見据え、「子ど
も」という存在を起点
とする教育・保育を問
い続けてきた弊誌の伝
統を、今またリレーし
ていく意味とは——表紙
の新しいサブタイトル
「子ども学の源流を
……」には編集スタッ
フの季刊化への思いが
示されています。

自然と生活の乖離、
「地域」の喪失、子育
てへの忌避感、「発展」
幻想の崩壊など、現代
社会には子どもと大人

季刊化にあたり
浜口順子

エピローグ

父が3才で父親を、14才で母親を亡くしたことを、私は子どものころから知っていたが、息子のKが14才のある時、ああ、父はKにとってのこの時に私を失ったのだと、胸の深いところで初めて感じた。

私たちはたぶん往々にして、思いを馳せることとまらず、他者の「子どもとしてあったこと」を身を以て感じたりする。そして齡を重ねるに従って長く思われた歳月はその距離を縮め、遠くてよく見えずよく聞こえなかった子どもたちの姿や声が、すぐ傍で感じられるようになります。そういう「側に立つ」立ち方もあるのだと思う。

父の母親は、明るい陽の光への憧れからか、春子という名だったそうだ。わたしもその憧れを生きたいと思う。特集「子どもとの視点」を組んだ春号に寄せて。(菊地)

明治34年発行の創刊号から、現在、平成19年発行の第106巻までご覧になれます。



『幼児の教育』バックナンバーをWEBページで公開中。

<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/3705/bulletin/>



次号予告 幼児の教育 夏号 2011年6月刊行予定

**特 集 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと
— 子どもの「やりたい」という気持ちはどんなもの? —**

**シリーズ 子どもが育つ場所を訪ねて
— 川崎市子ども夢パーク —**

**実践研究 保育事例をめぐる対話
— ヒマワリをめぐって —**

幼児の教育 春号 第110巻 第4号

平成23年 4月1日発行

編集発行人/浜口順子

編集担当/田中恭子

発行所/日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発 売 所/株式会社フレーベル館

電話:03-5395-6604(編集)

振 替/00190-2-19640

印 刷 所/図書印刷株式会社

定 価/750円(本体715円)

◎日本幼稚園協会 2011 Printed in Japan

編集協力/フレーベル館

編集スタッフ/菊地知子

佐治由美子

佐藤寛子

宮里曉美

吉岡晶子

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

好評発売中

論文執筆・発表など、保育研究に必要なルールが1冊に！
保育に携わるすべての保育者・研究者必携！

保育学研究倫理ガイドブック

—子どもの幸せを願うすべての保育者と研究者のために—

一般社団法人 日本保育学会 倫理綱領ガイドブック編集委員会／編

保育学研究の指針となる倫理ガイドブックが刊行されました。保育学研究の心得を具体的な事例や用語解説などを用いて、わかりやすく、ていねいに解説します。

保育所や幼稚園など、保育現場の実践者や園にさまざまななかたちでかかわり、研究をされている方々にお薦めします。

21×15 cm 96ページ 定価 1,000円（税込）

●内 容 ●

条文を解説＆キーワードで読み説きます

第1部 保育学研究における倫理

1. 保育学研究における倫理とは何か
2. 「日本保育学会倫理綱領」条文解説

気になるポイントを

1項目 450文字程度でコンパクトに解説

第2部 研究成果の発表と倫理

1. 研究成果の公的な場・学会での発表と倫理
2. 研究データ・資料の取り扱い上の問題
3. 引用上の問題
4. オーサーシップに関する問題
5. 論文執筆上の問題
6. 学会発表時の問題
7. その他の研究倫理上の問題

ケースごとに、2つの具体例を紹介

第3部 保育学研究の実施と倫理の事例

1. 保育実践研究の実施における倫理の枠組み
2. 倫理の事例

第4部 倫理の教育

保育学研究倫理 ガイドブック

子どもの幸せを願う
すべての保育者と研究者のために

編集／一般社団法人 日本保育学会
倫理綱領ガイドブック編集委員会

10917

キンダーブックの
フレーベル館

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。

特別支援を必要とする子への関わり方がわかる！

障害児保育の基本

園は特別支援を必要とする子どもたちとの共生の場

石井哲夫／著

自閉症研究・療育の 第一人者からのメッセージ！

統合保育の基本であるインクルージョン（包み込み）という考え方に基づき、園における、一人ひとりの子どもに寄り添った障害児支援のあり方をわかりやすく紹介。基本的な知識や豊富な実践事例が満載。障害児保育に携わっているすべての人に読んでいただきたい1冊。

21×15cm 304ページ 定価2,100円（税込）

石井 哲夫

園は特別支援を必要とする
子どもたちとの共生の場



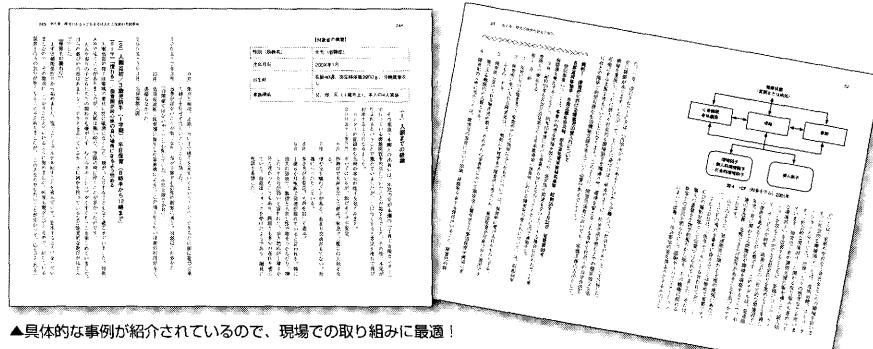
障害児保育の
基本

10919

目次

- 序 章 障害のある子どもの保育と保育所保育指針
- 第1章 障害児保育の歴史と現状
- 第2章 障害のある子どもへの理解と対応
- 第3章 障害児保育に関わる支援者研修

- 第4章 臨床経験に基づく障害児支援理論
- 第5章 保育所と療育施設との交流保育
- 第6章 障害のある子どもを受け入れる保育の実践事例



▲具体的な事例が紹介されているので、現場での取り組みに最適！

キンダーブックの
フレーベル館

2011(平成23)年度より導入される 保育士養成課程の新科目「保育相談支援」に完全対応!

・増補版

新保育所保育指針・新幼稚園教育要領・
新保育士養成課程 対応

保育者の保護者支援 保育相談支援の原理と技術

柏女靈峰 橋本真紀／著

保育者の専門性を生かした子育て支援、すなわち、環境で培われた「保育を通じた保護者支援」を明快に整理。「新保育所保育指針」「新幼稚園教育要領」、平成22年度改正の「新保育士養成課程」に対応。

21×15cm 280ページ 定価 1,680円（税込）

増補版

新保育所保育指針 新幼稚園教育要領 新保育士養成課程 対応

保育者の保護者支援

保育相談支援の原理と技術

柏女靈峰 橋本真紀



10721

あなたの保育を生かす、子どもも保護者も笑顔になる”保育技術”
「子育て支援は、何をどこまで行うのか」という疑問に答える1冊

POINT

- 今までの「保育指導」を「保育相談支援」として、加筆修正
- 「補遺」を追加、より使いやすさを重視、新保育士養成課程に、より丁寧に対応
- 「保育を通じた保護者支援」を明快に整理、「保育相談支援」のあり方について
具体事例から提案

キンダーブックの
フレーベル館